

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

整理番号：130904

改正：2024年2月6日

製品名	加タムプラスマ標準液（31種混合）
会社名	西進商事株式会社
住所	〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1-4-4
担当部門	本社営業一課 TEL:078-303-3810 FAX: 078-303-3822
緊急連絡先	本社営業一課 TEL:078-303-3810
製品番号	XSTC-13
推奨用途及び使用上の制限	プラスマ分析用の標準液

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS分類】

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分1B

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1

上記以外の危険有害性クラスは、「区分に該当しない」もしくは「分類できない」に該当する。

### 【GHSラベル要素】

シンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H314：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318：重篤な眼の損傷

注意書き：

#### 【安全対策】

P260

粉じんまたはミストを吸入しないこと。

P264

取扱い後は手をよく洗うこと。

P280

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 【応急措置】

P301+P330+P331

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

P304+P340

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310

直ちに医師に連絡すること。

P321

特別な処置が必要である。

P363

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

#### 【保管】

P405

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

P501

内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託して廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名または一般名

カスタムプラスマ標準液（31種混合）

成分名	化審法番号	安衛法	CAS番号	含有量(%)
硝酸	既存化学物質 (1)-394	公表	7697-37-2	5.0%
水	—	公表	7732-18-5	約94.97%

次の金属を各0.001%(10ppm)含有する。

Ag、Al、As、Ba、Be、Bi、Ca、Cd、Co、Cr、Cs、Cu、Fe、Ga、Hg、In、K、Li、Mg、Mn、Na、Ni、Pb、Rb、Se、Sr、Th、Tl、U、V、Zn

#### 危険有害性成分

労働安全衛生法（名称等を表示すべき有害物）：硝酸

（名称等を通知すべき危険物）：硝酸

#### 毒物及び劇物取締法

毒物：砒酸 0.0019%、硝酸第二水銀 0.0016%

劇物：亜セレン酸 0.0016%、硝酸ウラニル 0.0017%、硝酸リウム 0.0013%

#### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	環境に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし。
火災時の特有の危険有害性	有毒ガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	情報なし。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火活動の際は、呼吸保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	呼吸保護具等の保護具を着用する。保護具を着用していない人を退避させる。
環境に対する注意事項	多量の水で希釈する。下水道、地表水、地下水に入らないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	液体結合剤（珪藻土、酸結合剤、万能結合剤、おがくず）で吸収する。中和剤を使用する。汚染物質は項目13に従って廃棄物として処分する。適切な換気を確保する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。容器はその都度密栓する。
安全取扱い注意事項	作業場の換気・排気を十分に行う。エアロゾルの形成を防ぐ。
接触回避	吸入しないように、また眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗う。適切な保護具を着用する。
保管	
安全な保管条件	容器をしっかりと密閉し、施錠して保管する。
安全な容器包装材料	遮光した気密容器に保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 局所排気装置の設置または全体の換気を行う。

管理濃度、許容濃度

物質名	管理濃度	許容濃度
硝酸	未設定	日本産業衛生学会 2 ppm 5.2 mg/m <sup>3</sup> ACGIH 2 ppm(TWA)
砒酸	砒素として 0.003 mg/m <sup>3</sup>	砒素として 3 μg/m <sup>3</sup> (10E-3) 0.3 μg/m <sup>3</sup> (10E-4) 0.01 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
硝酸第二水銀	水銀として 0.025 mg/m <sup>3</sup>	未設定 水銀として 0.025 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
亜セレン酸	未設定	セレン、及びセレン化合物 (セレン化水素、六フッ素 化セレンを除く)として 0.1 mg/g <sup>3</sup> 0.2 mg/g <sup>3</sup> (TLV-TWA)
硝酸ケラニル	未設定	未設定 ケラニルとして 0.2 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
硝酸リウム	未設定	未設定 リウムとして 0.1 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)

### 保護具

- 呼吸用保護具：** 短時間の暴露または低汚染の場合は、呼吸フィルター装置を使用する。集中的または長時間の暴露の場合は、循環空気から独立した呼吸保護具を使用する。
- 手の保護具：** 不浸透性であり、製品に対して耐性がある保護手袋を着用する。
- 眼、顔面の保護具：** 製品に対して耐性がある保護眼鏡（ゴーグル）を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具：** 不浸透性であり、製品に対して耐性がある保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	情報なし。
臭い	特異臭
融点/凝固点	情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	83 °C (181.4°F)
可燃性	情報なし。
爆発下限及び爆発上限界/可燃範囲	情報なし。
引火点	情報なし。
自然発火点	自然発火なし
分解温度	情報なし。
pH	情報なし。
動粘性率	情報なし。
溶解度	水に完全に混和する。
n-オクタノール/水分分配係数	情報なし。
蒸気圧	23hPa (20°C)
密度及び/又は相対密度	1.02682 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	情報なし。
粒子特性	情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	情報なし。
危険有害反応性	危険な反応は知られていません。
避けるべき条件	情報なし。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていません。

## 11. 有害性情報

急性毒性	データ不足のため分類できない。
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入（気体）	区分に該当しない。
吸入（蒸気）	データ不足のため分類できない。
吸入（粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	区分1B 成分の硝酸(CAS 7697-37-2) (区分1)の濃度をもとに加法を用いて、製品全体の濃度を算出した。この値が濃度限界(5%)以上のため区分1Bとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1 成分の硝酸(CAS 7697-37-2) (区分1)の濃度をもとに加法を用いて、製品全体の濃度を算出した。この値が濃度限界(3%)以上のため区分1とした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器特性 (単回暴露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水性環境有害性(急性):	データ不足のため分類できない。
水性環境有害性(慢性):	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	情報なし。
生態蓄積性	情報なし。
土壌中の移動性	情報なし。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	当該化学品（残余廃棄物）や汚染容器及び包装は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 廃棄の際は許可を受けた産業廃棄物業者に委託して行う。
---	--

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号	UN 3264
品名	硝酸
国連分類	8 (腐食性物質)
容器等級	Ⅲ
国内規制がある場合の 規制情報	陸上輸送：消防法等の規定に従う。 海上輸送：船舶安全法等の規定に従う。 航空輸送：航空法等の規定に従う。

## 1 5. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき有害物：No. 307 硝酸1%以上 名称等を通知すべき有害物：No. 307 硝酸1%以上
毒物及び劇物取締法	毒物： 政令第1条第23号 砒素化合物及びこれを含有する製剤 政令第1条第17号 水銀化合物及びこれを含有する製剤 劇物： 政令第2条第1項第11号 可溶性ウラン化合物及びこれを含有する製剤 政令第1条第18号 セシウム化合物及びこれを含有する製剤 政令第2条第1項第64号硝酸リウム及びこれを含有する製剤
化審法	既存化学物質 (1-394)
消防法	非該当
船舶安全法 (危規則)	腐食性物質 (硝酸)
航空法	腐食性物質 (硝酸)
海洋汚染防止法	Y類物質 (硝酸)

## 1 6. その他の情報

### 参考文献

- 1) SPEX Certiprep Inc. SDS
- 2) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- 3) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス (令和元年度改訂版 (ver. 2. 0))
- 4) 厚生労働省 職場のあんぜんサイト
- 5) 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 (2023年度)
- 6) ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists) (2015) TLVs and BEIs.
- 7) その他公開情報

記載内容は、弊社が信頼できるものと判断し、現時点で入手できる資料、情報、データをもとに、JIS Z7252:2019およびJIS Z7253:2019に従って作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関していかなる保証をなすものではなく、何ら責任を負うものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上でご利用下さい。